霞ヶ関ホテルリート投資法人

2026 年 10 月 30 日

各　位

不動産投資信託証券発行者名
東京都千代田区霞が関三丁目 2 番 1 号
霞ヶ関ホテルリート投資法人
代表者名　　執行役員　　佐藤　正弥
（コード番号：401A）

資産運用会社名
霞ヶ関リートアドバイザーズ株式会社
代表者名　　代表取締役社長　　佐藤　正弥
問合せ先　　財務経理部長　　橋本　能尚
ＴＥＬ: 03-4334-5092

ホテル運営実績に関するお知らせ（2026 年 9 月度）

霞ヶ関ホテルリート投資法人（以下「本投資法人」といいます。）は、変動賃料導入済みの 11 物件（注 1）全体での当月のホテル運営実績（2026 年 9 月度）について、下記の通りお知らせいたします。なお、個別物件の実績については本投資法人のウェブサイトにてご参照ください。

記

1. 運営実績

	当月	前年同月	前年同月比
客室稼働率 （注 2）	75.5%	71.5%	+4.0 pt
ADR （注 3）	25,121 円	22,210 円	+13.1%
RevPAR （注 4）	18,972 円	15,871 円	+19.5%
売上高 （注 5）	262 百万円	219 百万円	+20.0%

2. 特記事項

- ✓ 2026 年 9 月の訪日外客数（推計値）は約 310 万人で、前年同月と比較して▲5.0%となりましたが、韓国、メキシコ、中東など 7 市場で 9 月として過去最高を記録しました（日本政府観光局「訪日外客数（2026 年 9 月推計値）」）。
- ✓ 9 月はシルバーウィークによる国内需要を高単価で獲得するとともに、平日はインバウンド需要を中心に取り込むといった曜日や需要特性に応じた料金設定が機能した結果、変動賃料導入済みの 11 物件中 9 物件で RevPAR は前年同月を上回りました。特に、広島エリアの 2 物件（fav 広島スタジアム及び fav 広島平和大通り）はライブやスポーツ関連イベントによる国内需要に加えて、台湾や韓国からの需要も伸びていることによって、RevPAR で前年同月対比で約 30%程度上昇し好調でした。
- ✓ 九州エリアについて、2026 年 7 月 28 日に熊本県を震源として発生した地震の影響により、8 月は fav 熊本及び fav 鹿児島中央では RevPAR が前年同月を下回りましたが、9 月の RevPAR は前年同月比で fav 熊本は+27.4%、fav 鹿児島中央は+3.0%と回復しています。
- ✓ 九州新幹線は 9 月 18 日に全線で運行を再開し、高速道路についても南九州道路の一部で通行止めが続いていますが、迂回ルートが提示されています。また、九州エリアの旅行支援策である「九州ふっこう応援割」も公表されています。

（注 1） fav 高松、fav 飛騨高山、fav 伊勢、fav 熊本、fav 広島スタジアム、fav 函館、fav 東京西日暮里、fav 広島平和大通り、fav 鹿児島中央、fav 東京両国、FAV LUX 飛騨高山の 11 物件が変動賃料導入済みです。

（注 2） 「客室稼働率」は、以下の計算式により求められる数値を、小数第 2 位を四捨五入して記載しています。
客室稼働率（OCC）＝販売客室数÷販売可能客室数×100

（注 3） 「ADR」とは、平均客室販売単価（Average Daily Rate）をいい、一定期間の宿泊売上高合計を同期間の販売客室数（稼働した延べ客室数）合計で除した値をいい、小数点以下を切り捨てて記載しています。

（注 4） 「RevPAR」とは、1 日当たり販売可能客室数当たり宿泊売上高合計（Revenue Per Available Room）をいい、一定期間の宿泊売上高合計を同期間の販売可能客室数合計で除した値をいい、小数点以下を切り捨てて記載しています。

（注 5） 「売上高」とは、賃借人が各物件において旅行宿泊施設運営事業及びその付帯事業により得た収入のことをいい、百万円未満を切り捨てて記載しています。本投資法人の保有資産と一体として運営されている施設において得られた収入であっても、当該施設が本投資法人の保有資産に含まれなければ、売上高には含まれません。

（注 6） 客室稼働率、ADR、RevPAR 及び売上高は、各物件のオペレーター又は主要なテナントから提供を受けた数値に基づいて霞ヶ関リートアドバイザーズ株式会社にて集計したものを記載したものであり、いずれも、あくまでも参考情報に過ぎず、当該情報は不完全又は不正確であるおそれもあります。また、これらの情報は、本投資法人が採用する会計処理等と同一の方法で算出されたものとは限りません。したがって、これらの情報は、当該物件における今後の売上高その他の運営実績と必ずしも一致するものではなく、場合によっては大幅に乖離する可能性もあります。

以 上

＊本投資法人のホームページアドレス：https://www.kasumigaseki-hotel-reit.co.jp